

令和 8 年度
聖徳大学大学院 教職研究科 教職実践専攻
(教職大学院)

春学期入学 B 日程

(令和 7 年 11 月 30 日実施)

< 専門知識 >
【児童教育コース】

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この「問題用紙」を開いてはいけません。
- (2) 「問題用紙」と「解答用紙」(2 枚) は、別になっています。
- (3) 「問題用紙」の表紙と、「解答用紙」各ページの指定欄に「受験番号」と「氏名」を忘れずに記入してください。
- (4) 解答は必ず、指定された「解答用紙」に記入してください。
各「解答用紙」には自分の選択した設問番号を正確に記入してください。
- (5) 配付された「問題用紙」、「解答用紙」は、すべて提出してください。
- (6) 携帯電話などの通信機器の電源は、切っておいてください。
- (7) 不正行為のあった場合は、ただちに受験を停止させ、受験を無効にする
とともに、その後の受験は認めません。

研究科名	教職研究科	受験番号		氏 名	
------	-------	------	--	-----	--

【問題は次のページから】

＜専門知識＞

以下の 3 題の設問から 2 題を選び、解答しなさい。

第 1 問

学校の設置者及び学校は、インクルーシブ教育システムの構築に向けた取り組みとして、障害のある子どもに対して合理的配慮を行う必要があります。合理的配慮とは何かを説明した上で、合理的配慮の決定・提供にあたって、教師が特に留意すべきことについて 500 字程度で述べなさい。

第 2 問

令和 3 年の中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す，個別最適な学びと，協働的な学びの実現～」では、これまでの日本の学校教育が「二項対立」の議論に陥りがちであったことが反省され、今後の方向性として、どちらの良さも適切に組み合わせ生かしていくという考え方が示されました。同答申において従来の「二項対立」の例として挙げられた履修主義と修得主義について、それぞれの用語の意味、良さ、懸念される事項を 500 字程度で述べなさい。

第 3 問

現行の学習指導要領の基本的な考え方となっている「社会に開かれた教育課程」について、①理念、②制度、③学校での実践における課題の 3 点に言及しながら、500 字程度で述べなさい。